

与話情浄名
よこぶ
六編



榮久堂板

上

赤活情浮名の

与六柳六編上冊

煤回定

よゝ 文化

一重高きよ

よゝ 志のく

よゝ 志

よゝ 志



業久堂

叢刊

此草紙の作者雀郎主人は彼一廓の園中ふ芳名と薫と舎と今を
 するべと作名の好文木は管家の愛樹梅田舎へ千束の塘れそゝふ
 ちどりた軒端の茅も徳家の茂陸が真土の碑もそれと聞かぬ其の中
 梅より似く真白る序の半葉を埋州せんと流さつけられぬ間ぬの板元の
 丁推をすむて画組をさるふきられし子三が島紛失らる古銅をさしきり貫ふ親の
 情と忠助が笠はるるくく目目の昔人火の用心と吹廻し合羽ふうを袖が
 浦観音久治が柵とちり男の義理を立花の宇壽雲あふで不可思議
 の縁もつらぬくくの伐まこ疵も愈るるどこの良業の功ふひと
 うきうきの數あられて御覽のやど最二帙ひん手とあくと序文の
 序の字を板下の序ふ少しよとにほふん

乙卯新鵠

筆耕舎玄魚戲述

續前六

赤間録食
趣むん心
南歌の旅
泊み酒妻
せりよや
図



黒破
太郎藏

源左門
太閤

木村



加納
和四郎

相生
左門



小道具屋
長
郎

向
疵の
与
三



久次
女房
梅田
宗

久次
女房
観音
次
み

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a journal entry, covering the top half of the right page.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the top half of the right page.

Handwritten text in a cursive style, covering the bottom half of the right page.

Handwritten text in a cursive style, covering the top half of the left page.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the top half of the left page.

Handwritten text in a cursive style, covering the bottom half of the left page.

薄紫宇治曙

七編 八編 九編

笠亭仙果作
一壽齋國貞画

与話情浮名横櫛

六編 七編 大尾

棋田舍好文作
一勇齋國芳画

菜種の花双蝶々

二冊

仙果作
國輝画

仙女香一包
美玄香四十八銅
坂本氏

御伽譚博多新織

五編 六編 七編

棋田舍好文作
一勇齋國芳画

桃太郎 鬼島記 椿説鬼魁談話

初編 五編
為永春水作
一雄齋國輝画

此の巻は、昔の物語を、今風に改題して、新編したものである。其の物語は、桃太郎の鬼島記、椿説鬼魁談話、御伽譚博多新織、菜種の花双蝶々、与話情浮名横櫛、薄紫宇治曙、笠亭仙果作、一壽齋國貞画、棋田舍好文作、一勇齋國芳画、仙果作、國輝画、仙女香、美玄香、坂本氏、初編、五編、為永春水作、一雄齋國輝画、とある。其の物語は、昔の物語を、今風に改題して、新編したものである。其の物語は、桃太郎の鬼島記、椿説鬼魁談話、御伽譚博多新織、菜種の花双蝶々、与話情浮名横櫛、薄紫宇治曙、笠亭仙果作、一壽齋國貞画、棋田舍好文作、一勇齋國芳画、仙果作、國輝画、仙女香、美玄香、坂本氏、初編、五編、為永春水作、一雄齋國輝画、とある。



國芳画 好文作

此の巻は、昔の物語を、今風に改題して、新編したものである。其の物語は、桃太郎の鬼島記、椿説鬼魁談話、御伽譚博多新織、菜種の花双蝶々、与話情浮名横櫛、薄紫宇治曙、笠亭仙果作、一壽齋國貞画、棋田舍好文作、一勇齋國芳画、仙果作、國輝画、仙女香、美玄香、坂本氏、初編、五編、為永春水作、一雄齋國輝画、とある。其の物語は、昔の物語を、今風に改題して、新編したものである。其の物語は、桃太郎の鬼島記、椿説鬼魁談話、御伽譚博多新織、菜種の花双蝶々、与話情浮名横櫛、薄紫宇治曙、笠亭仙果作、一壽齋國貞画、棋田舍好文作、一勇齋國芳画、仙果作、國輝画、仙女香、美玄香、坂本氏、初編、五編、為永春水作、一雄齋國輝画、とある。

